

令和 5年 6月 4日 日曜日
at ホテルビナリオ嵯峨嵐山

第13回 色染物質会 総会&講演会

色染工芸学科の変遷； 昭和50年代と平成



昭和51年卒業 **老田 達生**

自己紹介: **老田 達生 Tatsuo OIDA** 69歳

- 1953年, 大阪 生まれ (昭和28年9月)
- 1971年, 大阪府立 高津高等学校卒業
- 1975年, 京都工芸繊維大学 工芸学部 色染工芸学科 (第三講座) 卒業
- 1977年, 京都工芸繊維大学大学院 色染工芸学専攻 (第三講座) 修了
- 1981年, 京都大学大学院工学研究科 合成化学専攻 博士後期課程修了
- 2019年, 京都工芸繊維大学物質工学課程 教授を定年退職
- 1998より 京都産業大学 非常勤講師 (総合生命科学部)

専門分野: 有機化学、界面化学

老田 達生の略歴

- | | | |
|-----------|--|--|
| 昭和 28年 9月 | 大阪で生まれる。(高津高校 卒業) | |
| 昭和 51年 3月 | 京都工芸繊維大学工芸学部色染工芸学科 卒業 | } 就職 氷河期 |
| 昭和 53年 3月 | 同大学 大学院 色染工芸学専攻 修士課程 修了
第三講座：染色助剤学 寺村教授、林助教授 | |
| 昭和 57年 3月 | 京都大学 大学院 工学研究科 博士後期課程
合成化学専攻 研究指導認定退学 (化学研究所) | |
| 昭和 57年 4月 | 京都大学化学研究所 文部技官 教務職員 | |
| 昭和 63年10月 | 京都工芸繊維大学 文部技官 教務職員
： 工芸学部物質工学科 (旧 第三講座) | 昭和63年10月: 色染閉鎖、物質工 学科 発足
工芸科学研究科(大学院)発足 (&博士後期課程) |
| ： | ： | 昭和64年 1月 7日：昭和から平成に |
| 平成 29年 1月 | 京都工芸繊維大学 分子化学系 教授
界面材料学研究室 | 平成18年: 2学部合併 工芸科学部発足 |
| 平成 31年 3月 | 京都工芸繊維大学 定年退職 | 平成30年: 物質&高分子合併 応用化学課程発足
平成31年 4月末：平成の終わり |

京都工芸繊維大学の沿革 (色染に関連する部分のみ)

- | | |
|--|--|
| 大 学 | |
| 1902 京都高等工芸学校 | 1899 京都蚕業講習所開設 |
| | 1914 京都高等蚕業学校 |
| | 1931 京都高等蚕糸学校 |
| 戦前 1944 京都工業専門学校 | 1944 京都繊維専門学校 |
| 戦後 1949 | 京都工芸繊維大学設立 |
| 工芸学部 | 繊維学部 |
| 機織工芸学科/色染工芸学科/
窯業工芸学科/建築工芸学科 | 養蚕学科/製糸紡績学科/繊維化学科 |
| 1951-92 京都工芸繊維大学工業短期大学部併設 械電氣科/化学工業科 | 大 学 院 |
| 1967 工業化学科 新設 (化学系3学科) | 1965 大学院開設 [工芸学研究科(修士課程)] |
| 1988 物質工学科 新設 (化学系3学科合併)
有機材料開発学コース、無機材料開発学コース、分子認識学コース
(講座:物質変換学、物質機能学、物質開発学(教員組織)) | 1988 工芸科学研究科設置
[工芸学研究科&繊維学研究科の合併]
博士前期課程(各学科に)&
博士後期課程(機能科学専攻/材料科学専攻/情報・生産科学専攻) |
| 1998 デザイン経営工学科 新設 (第四講座の移転) | |
| 2006 工芸科学部設置(二学部合併) 物質工学課程に | 2006 二学部合併に伴う再編 & 繊維科学センター新設 |
| 2018 応用化学課程(物質工学課程 & 高分子課程の合併) | 2010 バイオベースマテリアル学専攻(大学院大学)新設
(第二講座の移転) |

色染工芸学科の教職員 (敬称略)

昭和50年
平成以降

第一講座:染料化学

野村 元昭 教授
山本 晃久 講師 S57定年退官
福西 興至 助手
河野 充也 技官

第二講座:浸漸学

伊藤 泰輔 教授
木村 光男 助教授 S60他大学に転出
橋本 勇 講師
乗 礼子 技官

光機能材料学研究室(物質変換学講座)

野村 元昭 教授 H4定年退官
福西 興至 助教授 教授に昇任後、第三講座に移動
桑原 正樹 助手 三講座から移動、講師に承認後、H20頃退職
河野 充也 技官 「高度技術支援センター」に移動、令和初期に退職
三木 定男 助教授→教授 H27定年退職
[箕田 雅彦 助手→准教授] 独立:精密有機材料学研究室 教授 現役
[本柳 仁 助教] 独立後、准教授に

材料物理化学研究室(物質開発学講座)

伊藤 泰輔 教授 H6定年定年退官
梶原 莞爾 助教授 S63着任、教授に昇任後、H14 退職
橋本 勇 講師 →助教授、H6? 定年退職
浦川 宏 助手 S58? 着任、→助教授→教授、R3定年退職
安永 秀計 助手 H4? 着任、移動後 助教授 現役
乗 礼子 技官

H22に新設の大学院大学;バイオバースマテリアル専攻に浦川先生以下、移動。これにより第二講座はほぼ消滅。(浦川先生の後は、第二講座出身の綿岡 勲 准教授が継いでおられます。)

三木先生の退職により、第一講座の系譜は消滅

色染工芸学科の教職員 (敬称略)

昭和50年
平成以降

第三講座:繊維助剤学

寺村 一広 教授
林 良之 助教授
長野 与志夫 助手
桑原 正樹 技官 第一講座に移動
清水 富男 技官 桑原先生の後に着任

第四講座:捺染学

寺主 一成 助教授 →教授、S63定年退官
脇田 登美司 助教授
奥田 福之助 講師 S54定年退官
河村 晴夫 助手 H4退職
田村 実 技官 S60定年退官

界面材料学研究室(物質変換学講座)

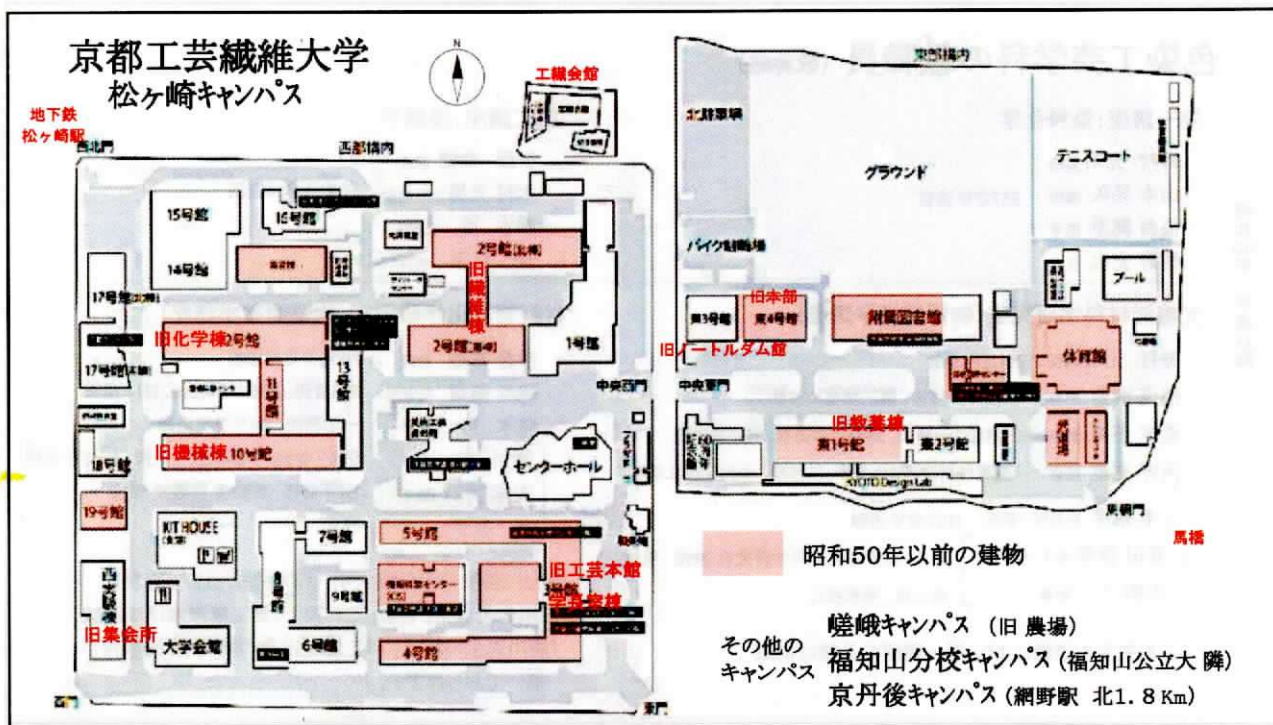
寺村 一広 教授 H2定年退官
林 良之 教授 H11定年退官
長野 与志夫 助手 H5退官
清水 富男 助手→助教授 H29定年退職
老田 達生 助手→助教授→教授 H31定年退職
杉本 正勝 技官 H7着任、デザイン経営工学に移籍→助手(上田充夫研)に転出、H24?退職

有機材料加工学研究室(物質開発学講座)

脇田 登美司 教授 H7定年退官
上田 充夫 助教授 H3?着任、→教授、デザイン経営工学に移籍 H25?に他大学に転出
佐藤 哲也 助手 H5着任、デザイン経営工学に移籍 →助教授→教授、造形系に吸収、R5定年退職

H10に新設のデザイン経営工学に上田、佐藤両先生が移籍。これにより第四講座はほぼ消滅(両先生の教え子の北口紗織先生が後を継いでおられます。)

老田の退職により、第三講座および色染工芸学科の系譜は消滅



色染工芸学科 (or その流れを汲む研究室) 出身の現職教員 (敬称略)

三村 充 助 教 : 情報工学・人間科学系, デザイン・建築学課程、H16着任
H3色染工芸学科卒業(第二講座)

綿岡 勲 准教授 : バイオベースマテリアル学専攻、H22着任 助教→准教授 (H19繊維科学センター研究員)
H5物質工学科卒 (第一期生)(第二講座)

布施 泰朗 准教授 : 分子化学系・環境科学センター、H10センターに着任 技官→助教→准教授
H6 物質工学科卒業 (第三講座)

北口 紗織 准教授 : 情報工学・人間科学系, デザイン・建築学課程 : H26着任 講師→准教授
H13 物質工学科卒業 (第四講座)

- 他大学の教員 (敬称略)
- ・大森 雅人 : S60卒 (第四講座) 神戸常磐大学教育学部 教授
 - ・星野 裕之 : S62卒 (第二講座) 山口大学教育学部 教授
 - ・解野 誠司 : H元卒 (第四講座) 椋山女学園大学生生活環境デザイン学科 教授
 - ・貝増 匡俊 : H元卒 (第四講座) 神戸女子大学家政学部家政学科 准教授
 - ・湯口 宜明 : H4卒 (第二講座) 大阪電通大学工学部環境化学科 教授
 - ・澤田 和也 : H6卒 (第四講座) 大阪成蹊大学生生活デザイン学科 教授
 - ・安川 涼子 : H13卒 (第二講座) 京都ノートルダム女子大学 准教授
 - ・松原 孝典 : H21卒 (第二講座) 産業技術短期大学機械工学科 講師
 - ・横山 創一 : H22卒 (学部;第二講座、博士前期;第三講座) 大阪大学産科学研究所 助教